



2026年9月10日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

10,972万kW

11時30分、109,715 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

2,869万kW

10時30分、28,694 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

133万kW

0時30分、1,329 MW

◇ 再エネ最大需要比

38.5%

10時30分、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

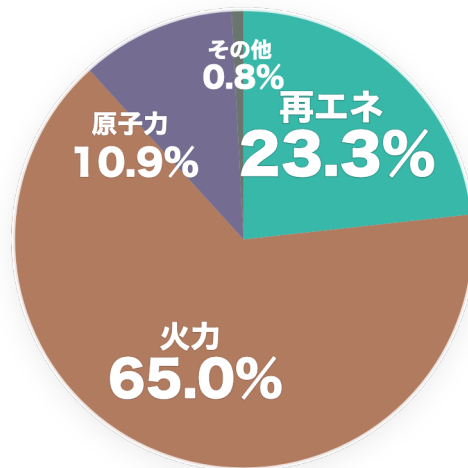
東京

120 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

110 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 50.0%

39.9 GWh

出力抑制量

5.5 GWh

最大: 中国 5.5 GWh

揚水・蓄電の充電

29.7 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、13:30に3,366万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで50.0%でした。
- 出力抑制は中国。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	23.3%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	529 GWh	太陽光・水力・風力・バ イオマス・地熱
総発電電力 量	2,273 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	38.5%	10時30分
出力抑制量	5.5 GWh	最大: 中国
揚水・蓄電 の充電	29.7 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	50.0%	39.9	0.0	送電 7.6
東北	30.9%	95.8	0.0	送電 110
東京	13.9%	82.5	0.0	受電 120
中部	25.1%	72.4	0.0	受電 74.3
北陸	40.4%	33.2	0.0	送電 10.9
関西	19.9%	67.4	0.0	受電 40.6
中国	24.5%	44.4	5.5	送電 19.9
四国	23.7%	25.7	0.0	送電 42.8
九州	24.7%	64.3	0.0	送電 23.9
沖縄	11.2%	3.3	0.0	—



2026年9月10日の供給実績

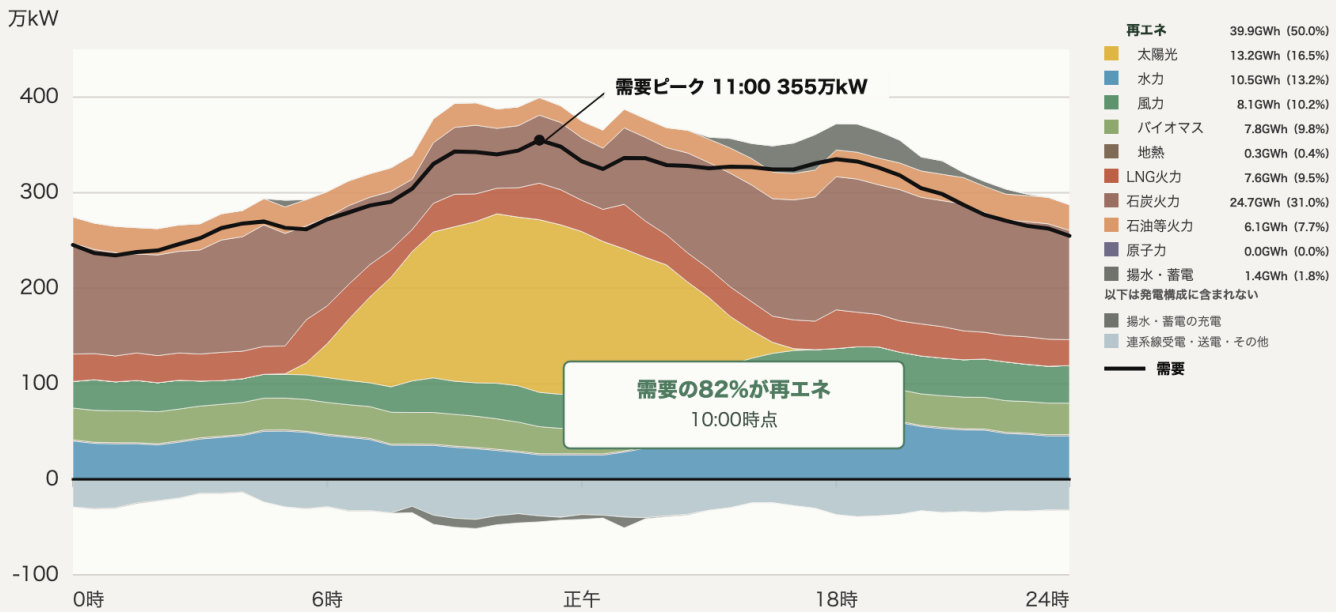
北海道エリア

再エネ

39.9GWh

(発電電力量ベース50.0%)

北海道エリア 2026年9月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

79.8GWh

需要ピーク

11:00、355万kW

連系線・その他

7.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク181万kW、風力ピーク40万kWで、時間別の再エネ最大需要比は81.7%だった。



2026年9月10日の供給実績

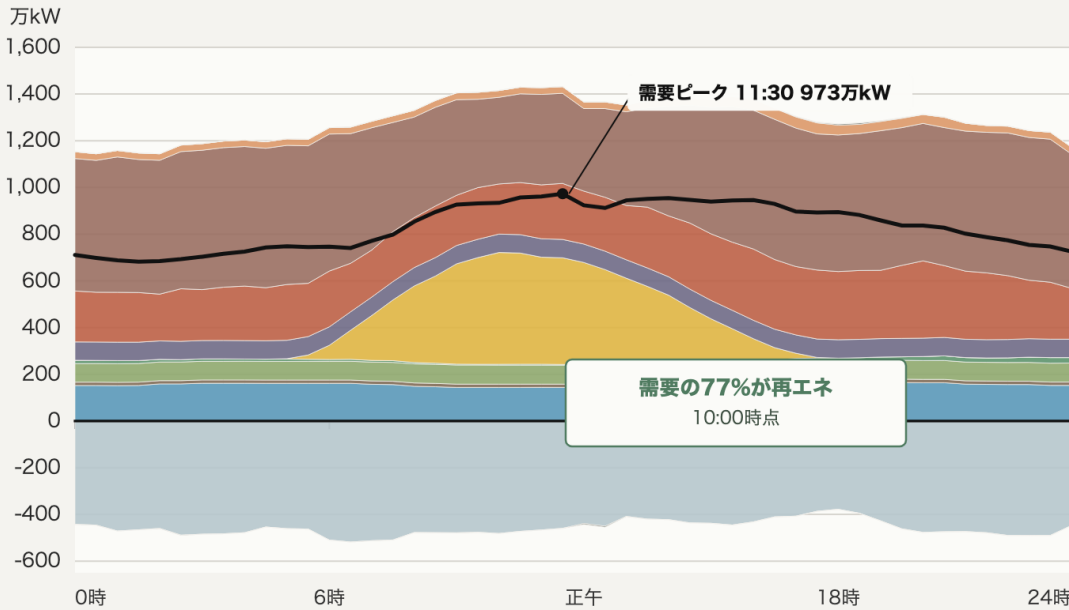
東北エリア

再エネ

95.8GWh

(発電電力量ベース30.9%)

東北エリア 2026年9月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

309.7GWh

需要ピーク

11:30、973万kW

連系線・その他

110.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク479万kW、風力ピーク24万kWで、時間別の再エネ最大需要比は77.3%だった。



2026年9月10日の供給実績

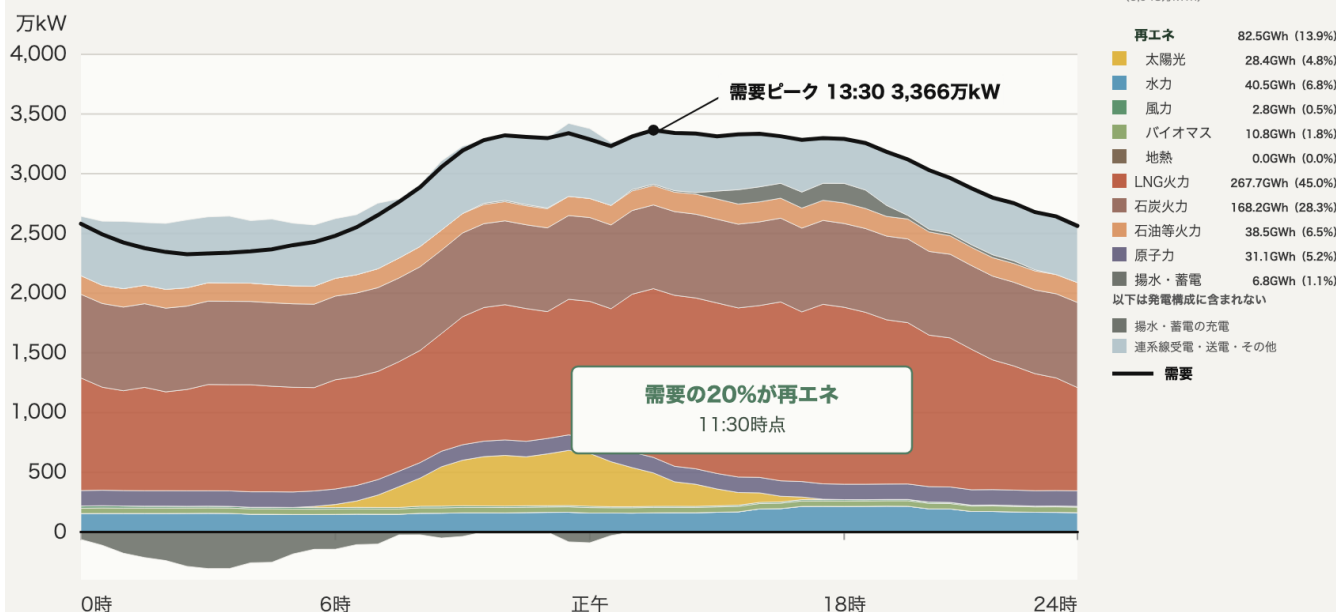
東京エリア

再エネ

82.5GWh

(発電電力量ベース13.9%)

東京エリア 2026年9月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

594.8GWh

需要ピーク

13:30、3,366万kW

連系線・その他

120.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電

16.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク462万kW、風力ピーク19万kWで、時間別の再エネ最大需要比は20.5%だった。



2026年9月10日の供給実績

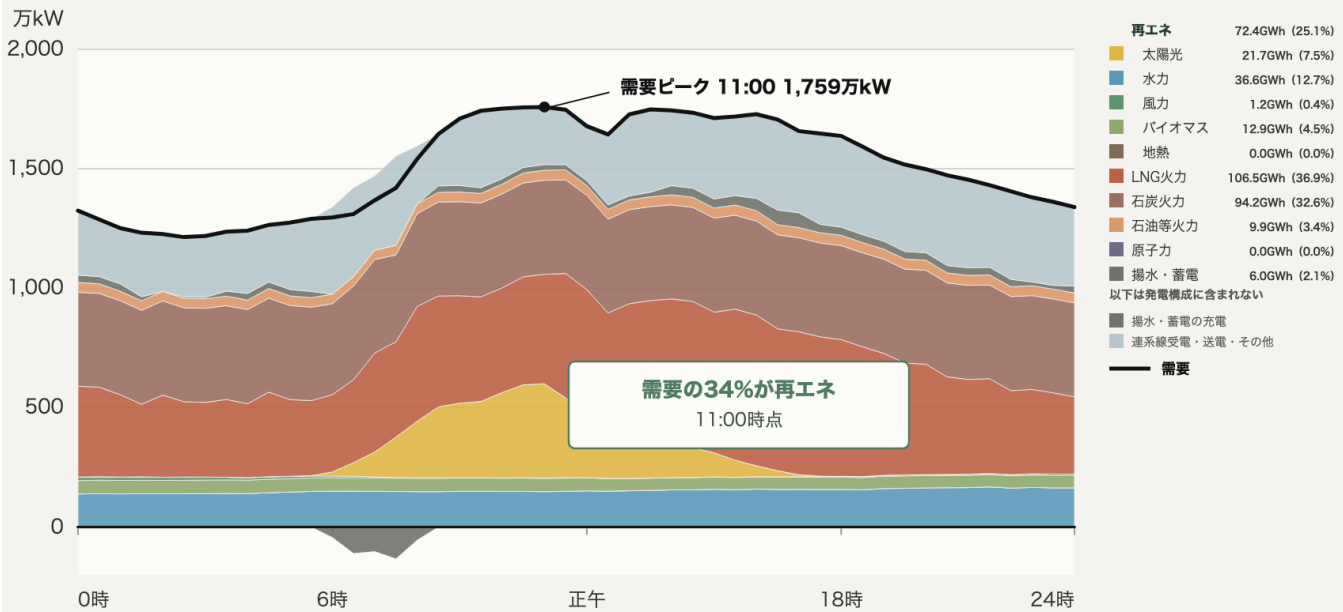
中部エリア

再エネ

72.4GWh

(発電電力量ベース25.1%)

中部エリア 2026年9月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

288.9GWh

需要ピーク

11:00、1,759万kW

連系線・その他

74.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電

2.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク395万kW、風力ピーク15万kWで、時間別の再エネ最大需要比は34.1%だった。



2026年9月10日の供給実績

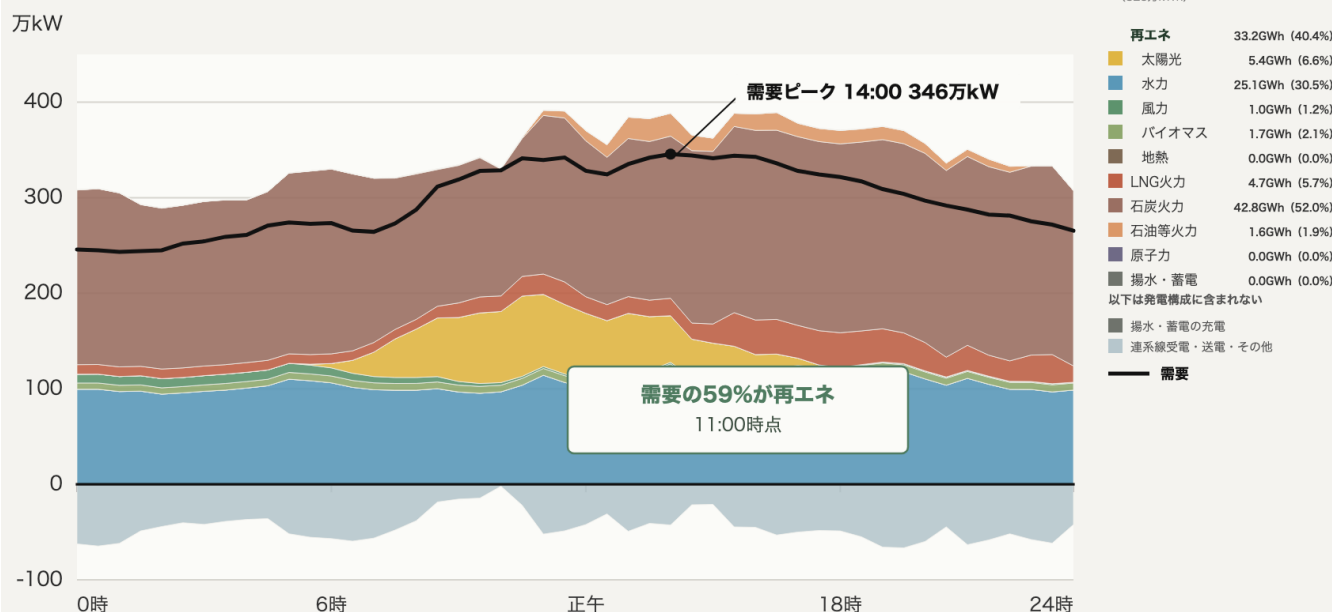
北陸エリア

再エネ

33.2GWh

(発電電力量ベース40.4%)

北陸エリア 2026年9月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

82.3GWh

需要ピーク

14:00、346万kW

連系線・その他

10.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク84万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.6%だった。



2026年9月10日の供給実績

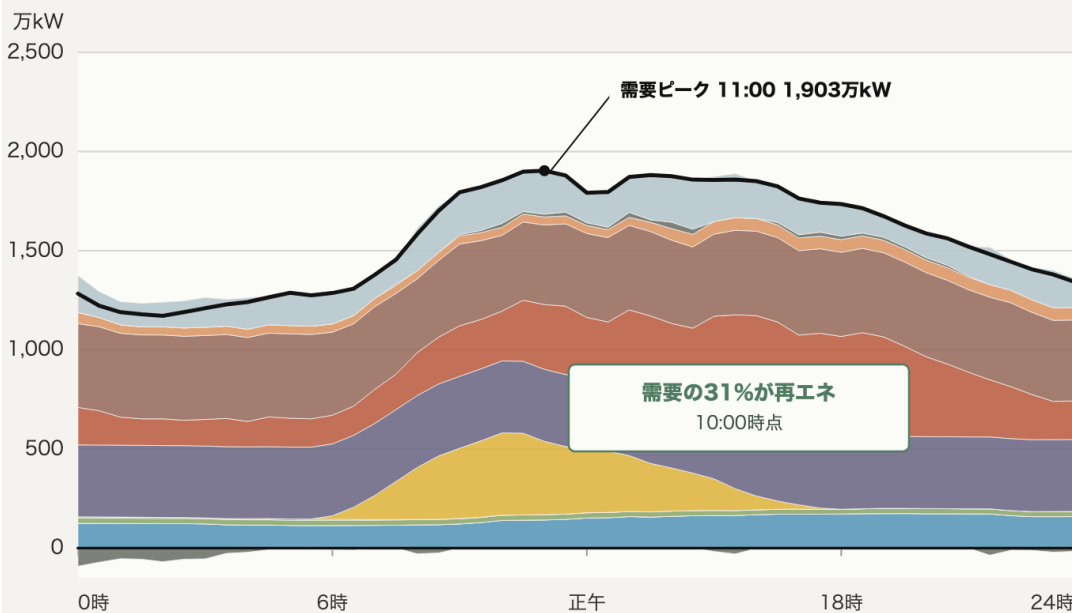
関西エリア

再エネ

67.5GWh

(発電電力量ベース19.9%)

関西エリア 2026年9月10日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 338GWh
(3,383万kWh)

再エネ	67.4GWh (19.9%)
太陽光	26.1GWh (7.7%)
水力	34.7GWh (10.2%)
風力	0.5GWh (0.1%)
バイオマス	6.2GWh (1.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	69.8GWh (20.6%)
石炭火力	100.0GWh (29.6%)
石油等火力	12.2GWh (3.6%)
原子力	87.0GWh (25.7%)
揚水・蓄電	1.7GWh (0.5%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

338.3GWh

需要ピーク

11:00、1,903万kW

連系線・その他

40.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

3.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク415万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は31.3%だった。



2026年9月10日の供給実績

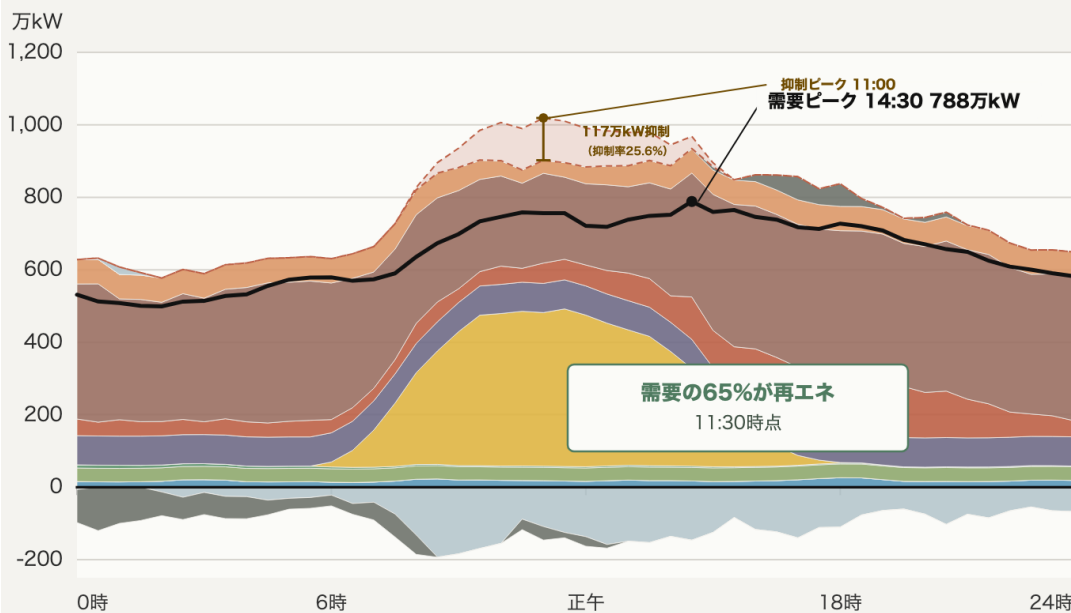
中国エリア

再エネ

44.4GWh

(発電電力量ベース24.5%)

中国エリア 2026年9月10日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 181GWh
(1,814万kWh)

再エネ	44.4GWh (24.5%)
太陽光	30.2GWh (16.6%)
水力	4.3GWh (2.4%)
風力	1.0GWh (0.5%)
バイオマス	8.9GWh (4.9%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	18.5GWh (10.2%)
石炭火力	82.5GWh (45.5%)
石油等火力	15.2GWh (8.4%)
原子力	19.3GWh (10.6%)
揚水・蓄電	1.5GWh (0.8%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出力抑制量

5.5GWh

火力 5.5GWh

本来発電可能量の4.5%

抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量)

出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量

出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

181.4GWh

需要ピーク

14:30、788万kW

連系線・その他

20.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

5.8GWh

出力抑制

5.5GWh

概況

中国は、太陽光ピーク435万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.9%だった。



2026年9月10日の供給実績

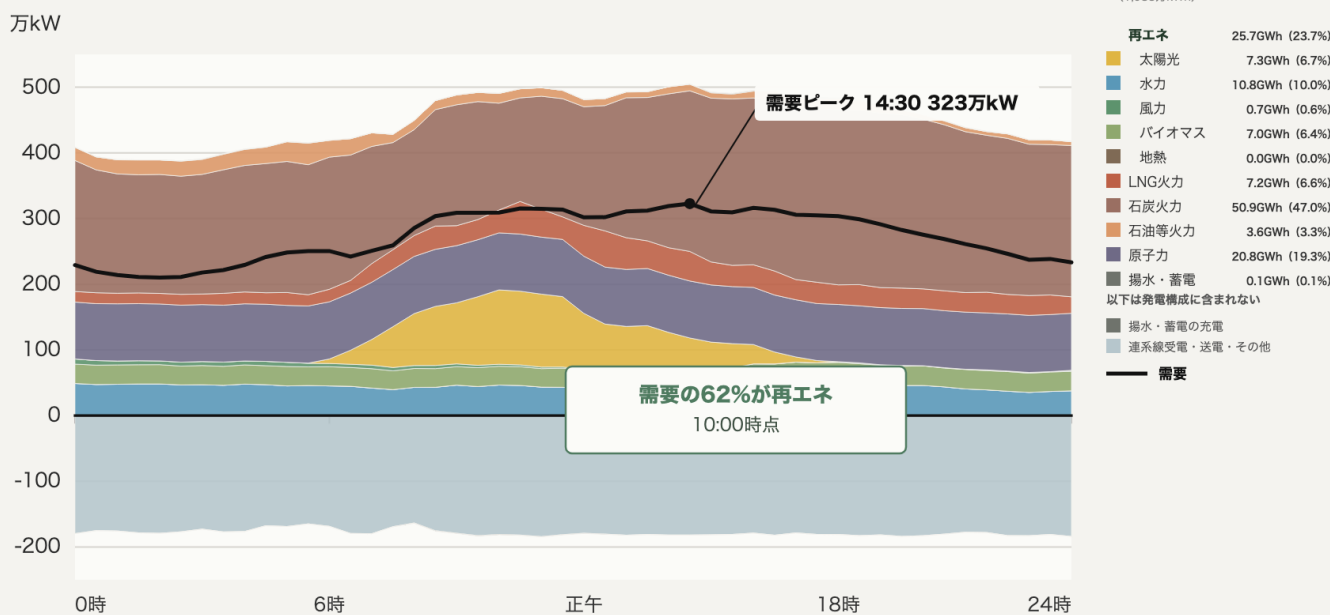
四国エリア

再エネ

25.7GWh

(発電電力量ベース23.7%)

四国エリア 2026年9月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

108.3GWh

需要ピーク

14:30、323万kW

連系線・その他

42.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク113万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.9%だった。



2026年9月10日の供給実績

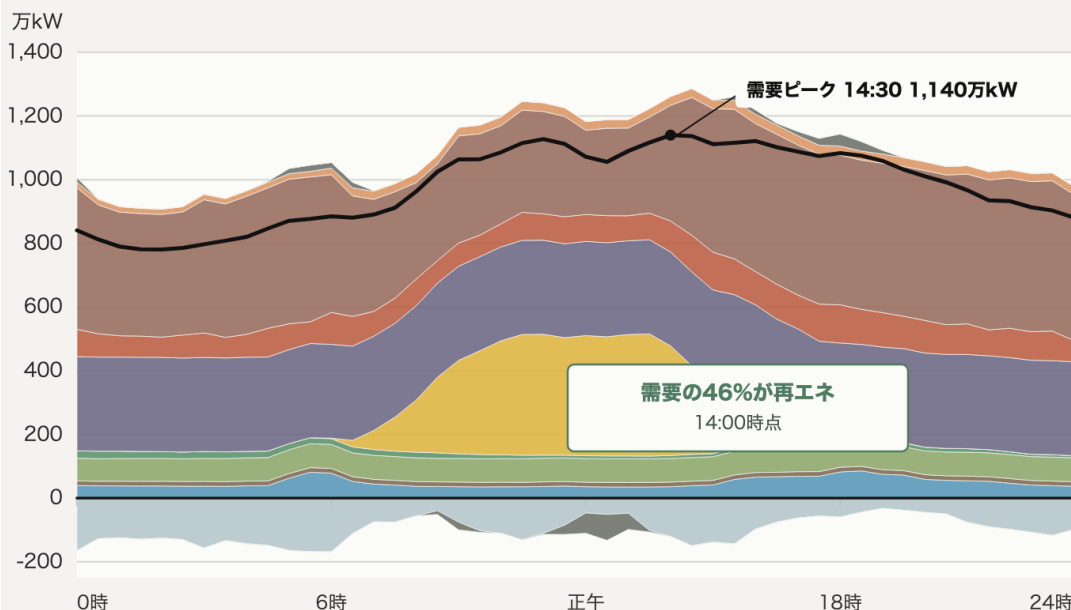
九州エリア

再エネ

64.3GWh

(発電電力量ベース24.7%)

九州エリア 2026年9月10日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 260GWh
(2,602万kW)

再エネ	64.3GWh (24.7%)
太陽光	28.0GWh (10.8%)
水力	11.7GWh (4.5%)
風力	3.3GWh (1.3%)
バイオマス	17.8GWh (6.8%)
地熱	3.5GWh (1.3%)
LNG火力	21.1GWh (8.1%)
石炭火力	96.9GWh (37.2%)
石油等火力	5.9GWh (2.3%)
原子力	70.9GWh (27.2%)
揚水・蓄電	1.2GWh (0.5%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

260.2GWh

需要ピーク

14:30、1,140万kW

連系線・その他

23.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク384万kW、風力ピーク24万kWで、時間別の再エネ最大需要比は48.0%だった。



2026年9月10日の供給実績

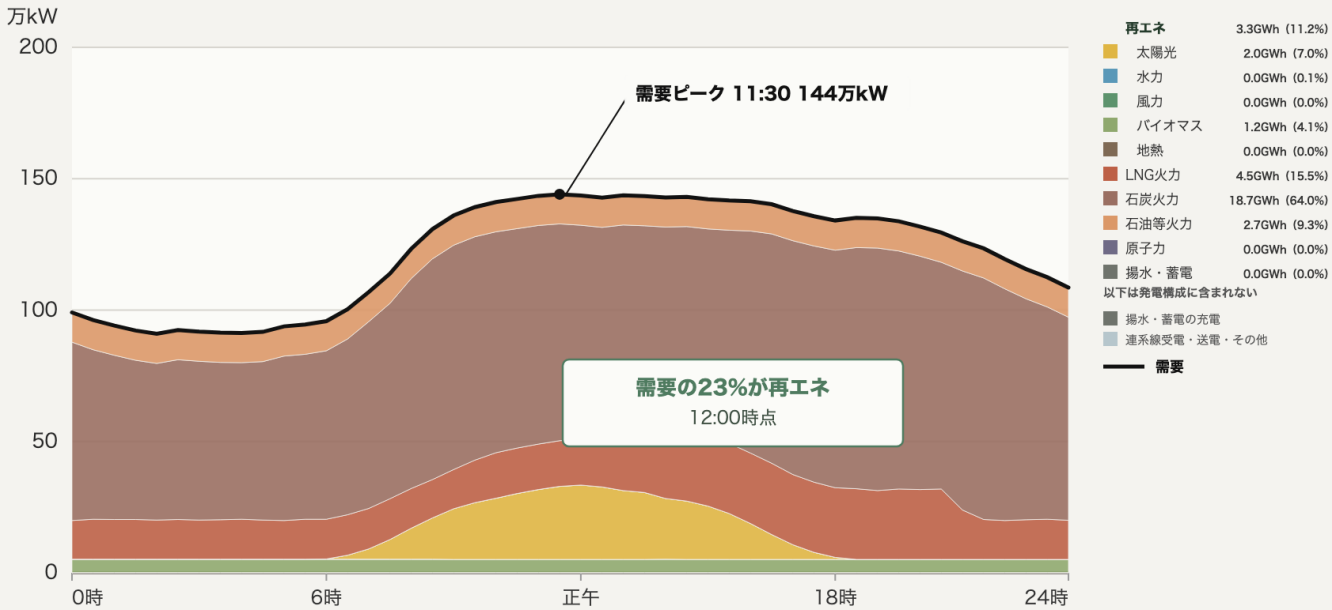
沖縄エリア

再エネ

3.3GWh

(発電電力量ベース11.2%)

沖縄エリア 2026年9月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

29.2GWh

需要ピーク

11:30、144万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク28万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.3%だった。